この建築材料等品質性能表は、特記仕様書記載の材料の品質、性能、試験方法を詳細に示したものである。

章	項目	品質　性能　試験方法

3 防水改修工事

アスファルト防水

〈乾式保護材〉
（品質・性能）

分類・規格			・窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類（寒冷地仕様）	・窯業系ﾊﾟﾈﾙⅡ類（一般地仕様）	・金属複合板
寸法(mm)	厚さ(mm)				
	幅(mm)				
寸法の許容差			厚さ：+10%、-5%、・幅：±1%		
出荷時の含水率			出荷時において10%以下		-
曲げ強さ・曲げﾓｰﾒﾝﾄ（N・cm）（ｽﾊﾟﾝ50cmにおける単位幅1cmあたりの曲げﾓｰﾒﾝﾄ）	標準時		550以上	450以上	300以上
	凍結融解完了時（試験ｻｲｸﾙ数）		400以上	320以上	250以上
			(300)	(200)	(300)
吸水率（%）			20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率(%)			0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性			不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能			曲げ強さ、ﾓｰﾒﾝﾄ凍結融解完了時の試験ｻｲｸﾙ後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと		
耐衝撃性能			質量500g（窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類は1,000g）のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。		質量500g（窯業系ﾊﾟﾈﾙⅠ類は1,000g）のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。 残留変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下
剛性（E×I）ｽﾊﾟﾝ40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性			-	-	80,000N・cm2以上

（試験方法）
(1) 寸法の試験方法
（厚さ）供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてﾊﾟﾈﾙの厚さとする。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A1408「建築用ﾎﾞｰﾄﾞ類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。測定項目については、100, 200, 300ｻｲｸﾙ完了後の合計4項目に亘って測定する。（窯業系ﾊﾟﾈﾙⅡ類は200ｻｲｸﾙまでとする。）
(3) 吸水率試験は、JIS A5430「繊維強化ｾﾒﾝﾄ板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体（幅40mm×長さ160mm×素材厚さ）を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K8123「塩化ｶﾙｼｳﾑ(試薬)」に規定する塩化ｶﾙｼｳﾑ又はJIS K1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するｼﾘｶｹﾞﾙで調湿したﾃﾞｼｹｰﾀに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつｺﾝﾊﾟﾚｰﾀを用いて標線間の長さを測定し、それを基準（L1）とする。次に試験片の長さ方向を水平にこば立てし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。
48時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ（L2）を測る。
吸水による長さ変化率（ΔL）は、次式によって求める。
（ΔL）=（L2-L1）/L1×100　　ΔL：吸水による長さ変化率（%）
L1：乾燥時の標線間の長さ（mm）　　L2：吸水時の標線間の長さ（mm）
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A5422「窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ」の気中凍結水中融解法によって行う。
100, 200, 300各ｻｲｸﾙ完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。（窯業系ﾊﾟﾈﾙⅡ類は200ｻｲｸﾙまでとする。）-20±3℃の気中で約2時間の凍結、20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1ｻｲｸﾙとする。
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A1408「建築用ﾎﾞｰﾄﾞ類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。
試験体の大きさは、4号（長さ400mm, 幅300mm）とする。おもりは記号（W1-1000又はW2-500）とする。
金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。

可とう性エポキシ樹脂

〈可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂〉
（品質・性能）

項目			品質・性能
比重			表示値：±0.10
押出し性			60秒以下
スランプ			3.0mm以下
加熱減量			5.0%以下
常温物性	引張強さ		1.0N/mm^2 以上
	伸び		30.0%以上
	引張接着性	最大引張り応力	2.0N/mm^2以上
		破断時の伸び	10.0%以上
低温性	引張強さ		1.0N/mm^2以上
	伸び		30.0%以上
加熱劣化	引張強さ		1.0N/mm^2以上
	伸び		30.0%以上
その他			1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 3）常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。

（試験方法）
ｲ）試験室の状態：試験室は、特にことわりがない限り、温度23±2℃、湿度50±5%　とし、標準状態とする。
ﾛ）試験体の作り方　：試験室に保管した主剤及び硬化剤を、適切な容器に製造所の定める割合で採取し3分間十分に混練する。試験体個数は、3個とする。
ﾊ）比重：JIS A1439「建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材の試験方法」の5. 11による。
ﾆ）押出し性：JIS A1439の5. 14（試験用ｶｰﾄﾘｯｼﾞによる押出し試験）による。
ﾎ）ｽﾗﾝﾌﾟ：JIS A1439の5. 1による。
ﾍ）加熱減量：加熱減量試験は、下記による。
1. 試験器具は、次による。
(1) 時計皿：直径75mmのもの2枚。
(2) 恒温器：JIS K6257「加硫ｺﾞﾑ及び熱可塑性ｺﾞﾑ-熱老化特性の求め方」の4. 3試験方法の表1に規定する促進老化試験A法のAA-2強制循環形熱老化試験機（横風式）（ｷﾞｱ-式老化試験機ともいう。）又はこれに準じた装置。
(3) はかり：ひょう（秤）量200g、感量1mmgのもの。
2. 試験方法
2枚の時計皿の質量（M0）を測定する。次に一方の時計皿にへらなどを用いて試料を直径約60mm、厚さ約2mmになるように塗りつけ、残りの時計皿でふたをして、直ちにそ　の質量（M1）を測定する。ふたを取り除いて、標準状態に14日間静置し、更に80±3℃に調節した恒温器中で336時間（14日間）加熱する。加熱後、恒温器から取り出し、標準状態に4時間静置し、再び残りの時計皿でふたをして、その質量（M2）を測定する。
加熱減量は、次の式によって計算し、平均値で表す。

$$L = \frac{M1-M2}{M1-M0} \times 100$$

L：加熱減量（%）
M0：2枚の時計皿の質量（mg）
M1：加熱前の試料と2枚の時計皿の質量（mg）
M2：加熱後の試料と2枚の時計皿の質量（mg）

ﾄ）引張強さ：JIS K6251「加硫ｺﾞﾑ及び熱可塑性ｺﾞﾑ-引張特性の求め方」に準ずる1号ﾀﾞﾝﾍﾞﾙを用い、引張速度は200mm/minとする。
ﾁ）伸び：JIS K6251に準ずる。1号ﾀﾞﾝﾍﾞﾙを用い、引張速度は200mm/minとする。
ﾘ）引張接着性：JIS A1439の5. 20による。
ﾇ）標準状態での試験：試験体を標準状態で14日間養生したのち、引張強さ、伸び、引張接着性を測定する。
ﾙ）低温での試験：試験体を標準状態で14日間養生し、さらに0±3℃に調節した恒温室に16時間保存したのち恒温室内にて引張強さ、伸びを測定する。
ｦ）加熱劣化試験：試験体を標準状態で14日間養生し、さらに80±3℃に調節した恒温器内 に14日間置いたのち、標準状態に戻して引張強さ、伸びを測定する。

パテ状エポキシ樹脂

〈ﾊﾟﾃ状ｴﾎﾟｷｼ樹脂〉
（品質・性能）

項目	品質・性能
初期硬化性	標準：2. 0N/mm^2以上
接着強さ	標準：6. 0N/mm^2以上
圧縮強さ	50. 0N/mm^2以上
曲げ強さ	30. 0N/mm^2以上
硬化収縮率	3. 0%以下
その他	1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 3）常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、上記の品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。

（試験方法）
JIS A6024「建築補修用注入ｴﾎﾟｷｼ樹脂」の6. 試験方法を準用する。
ただし、曲げ試験は、下記による。
（曲げ強さ）
1. 6. 1 b）の試料を標準寸法の金型（長さ80. 0±2. 0mm、幅10. 0±0. 2mm、厚さ4. 0　±0. 2mm）に充填し、6. 1の試験室の状態で7日間養生し、脱型したものを用いる。
2. 試験方法は、JIS K7171「ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ-曲げ特性の求め方」に規定する。
曲げ強さは、次の式によって計算する。

$$\sigma b = \frac{3PL}{2bh^2}$$

σb：曲げ強さ（MPa）
P：最大荷重（N）
L：支点間距離（mm）
b：試験片の幅（mm）
h：試験片の厚さ（mm）

3. 試験の回数 ： 試験は、各試験3回行う。

エポキシ樹脂モルタル

〈ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ〉
（品質・性能）

項目	品質・性能
だれ	形状に異常がなく、だれが生じないこと。
接着強さ	1. 0N/mm^2以上
圧縮強さ	20. 0N/mm^2以上
曲げ強さ	10. 0N/mm^2以上（3日後の値）
その他	1）こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2）均質で有害と認められる異物の混入があってはならない。 3）「労働安全衛生法」に基づく有機溶剤中毒予防規則に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4）常温・常湿（温度20±15℃、湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。

（試験方法）
ｲ）試験室の状態：試験室は、特にこだわらない限り、温度23±2℃、湿度50±5%　とし、標準状態とする。
ﾛ）試料の調整：ｲ）の状態で保管した主剤及び硬化剤を製造所の定める割合で採取し、適切な容器を用いて十分に撹拌する。試験体個数は、3個とする。
ﾊ）外観：ﾛ）の試料を用い、清浄なｶﾞﾗｽ板に均一に塗布し、均質性と異物の混入の有無を観察する。
ﾆ）比重：曲げ試験体の寸法と重量を測定して求める。
ﾎ）圧縮強さ：JIS R5201「ｾﾒﾝﾄの物理試験方法」の10. 4により試験体を作成し、10. 1（4）に規定する試験機で10. 5により測定し、10. 6により圧縮強さを求める。
ﾍ）曲げ強さ：JIS R 5201「ｾﾒﾝﾄの物理試験方法」の10. 4に準じ試験体を作　成する。10. 1（5）に規定する試験機により、支点間100mmとし、供試体を成形したとき　の側面の中央に毎秒50Nの割合で載荷し最大荷重P（N）を求め、P×0. 00234=σの式で曲げ強さσ（N/mm^2）を求める。
ﾄ）接着強さ：JIS A5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面を　ﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼなどを用いて清浄にし、そのうえに厚さ10mmになるようｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙを塗り、3日間経過した後に、その上面に縦40mm、横40mm、厚さ10mmの鉄片を張り付けて単軸引張りを加える。最大荷重（P）を断面積（A）で除し、接着強さを求める。
ﾁ）だれ試験：JIS A5371の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板の表面をﾜｲﾔｰﾌﾞﾗｼ等を用いて清浄にし、その上に厚さ30mm、幅100mm、長さ50mmの寸法にｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙを塗り付け、塗付け開始から5分後に、平らに置かれた平板を直角に立て起し、そのままの状態で静置する。24時間後のｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙの変形状態を観測し、その形状の異常の有無とだれ長さを測定する。

ポリマーセメントモルタル

〈ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ〉
（品質・性能）

項目			品質・性能
だれ	下がり量(mm)		5以内
	表面の状態		ひびわれの発生が無いこと。
曲げ強さ(N/mm^2)			6. 0以上
圧縮強さ(N/mm^2)			20. 0以上
接着強さ(N/mm^2)	標準条件		1. 0以上
	特殊条件	湿潤時	0. 8以上
		低温時	0. 5以上
透水性			裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。
その他			1）均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2）高分子ｴﾏﾙｼｮﾝは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。

ポリマーセメントスラリー

〈ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ〉
（品質・性能）

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮%)	引張接着性 (材齢28日) (N/m^2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/m^2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/m^2)
3以上	3	0. 5以上	5. 0以上	15以下	0. 5以上

保水係数 0. 35～0. 55
粘調係数 0. 50～1. 00

既製調合モルタル

〈既製調合ﾓﾙﾀﾙ〉
（品質・性能）

項目		品質・性能
保水率		70. 0%以上
単位容積質量		1. 8kg/l以上
接着強さ	標準時	0. 6N/mm^2以上
	温冷繰返し後	0. 4N/mm^2以上
長さ変化率		0. 2%以下
曲げ強さ		4. 0N/mm^2以上

（試験方法）
(1) 試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R5201「ｾﾒﾝﾄの物理試験方法」の9. 1に規定する練り混ぜ機を使用し、練りぱちに用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2) 保水率の試験方法
JIS R3202「ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ及び磨き板ｶﾞﾗｽ」に規定するみがき板ｶﾞﾗｽ（ 縦150mm、横150mm、厚さ5mm）の上にJIS P3801「ろ紙（化学分析用）」に規定する5 A ろ紙（直径11cm）をのせ、その中央部に真ちゅう製ﾘﾝｸﾞ型わく（内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm）を設置し、（1）で調製した試料を金べらで平滑に詰込む。その後、直ちにﾘﾝｸﾞ型わく上部にｶﾞﾗｽ板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がりが最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをﾉﾏﾞｽを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100　　（注）50：ﾘﾝｸﾞ型わくの内径（mm）
(3) 単位容積質量の試験方法
JIS A1171「ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの試験方法」に準ずる。
(4) 接着強さ（標準時）の試験方法
ｲ）適用ﾀｲﾙが「ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ」の場合
（試験体の作製）JIS A5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をｻﾝﾄﾞﾍﾟｰﾊﾟｰを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。
直ちにJIS A5209「陶磁器質ﾀｲﾙ」に規定するｶﾞﾗｽ質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙで、乾式成形のⅠ類（施ゆう）「50角ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ（外のりす法約300mm×300mm）」を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）JIS A6909「建築用仕上塗材」の7. 9付着強さ試験に準じて行う。試験体をﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰを用いて、ﾀｲﾙ周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、ｴﾎﾟｷｼ樹脂接着剤で鋼製ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄを接着し、引っ張り試験を用いて接着強さ試験を行う。なお、接着強さの測定ヶ所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜取る。　（全てが0. 5N/m^2以上）
ﾛ）適用ﾀｲﾙが「小ﾛﾀｲﾙ・二丁掛ﾄﾀｲﾙ」の場合
（試験体の作製）JIS A5371「ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品」の附属書B（規定）及び推奨仕様B-1に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をｻﾝﾄﾞﾍﾟｰﾊﾟｰを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに（1）で調製した試料を厚さ7mmになるよう塗付ける。直ちにJIS A5209「陶磁器質ﾀｲﾙ」に規定するｶﾞﾗｽ装壁ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙで乾式成形のⅠ類（施ゆう）「小ﾛﾀｲﾙ108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。
その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。
（試験方法）「ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ」の場合と同様に行う。
(5) 接着強さ（温冷繰返し後）の試験方法
（試験体の作製）「ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ」及び「小ﾛﾀｲﾙ・二丁掛ﾄﾀｲﾙ」とも、各々（4）接着強さ（標準時）の試験方法の「試験体」と同様とする。
（温冷繰返し試験）「ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ」及び「小ﾛﾀｲﾙ・二丁掛ﾄﾀｲﾙ」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」の7. 10温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の　恒温器中で3時間冷却し、次いで50±2℃の別の恒温器中で3時間加温し、この24時間を1ｻｲｸﾙとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れ　の有無を目視によって調べる。
（温冷繰返し後の接着強さ試験方法）「ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ」及び「小ﾛﾀｲﾙ・二丁掛ﾄﾀｲﾙ」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。（全てが0. 4N/mm^2以上）
(6) 長さ変化率の試験方法
JIS A6203「ﾓﾙﾀﾙ混和用ﾎﾟﾘﾏｰﾃﾞｨｽﾊﾟｰｼﾞｮﾝ及び再乳化形粉末樹脂」9. 9長さ変化率に準ずる。
(7) 曲げ強さの試験方法
JIS A6916「建築用下地調整塗材」7. 11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態 ： 試験室は、温度20±2℃、湿度65±10%とする。

5 建具用金物

〈錠前類〉【ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠及びｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠】
（品質）
ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはﾏｽﾀｰｷｰ、ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾏｽﾀｰｷｰ、ｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝｷｰなどのｷｰｼｽﾃﾑが構築できるものとする。
（性能）
使用頻度による性能
1）（ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠のみ）ﾗｯﾁﾎﾞﾙﾄの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ﾊﾝﾄﾞﾙでの開閉操作力及びﾗｯﾁﾝｸﾞ力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。
2）ｷｰによるﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの施解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転ﾄﾙｸの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。（ｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠のみ）ｼﾘﾝﾀﾞ単体の施解錠繰り返しの評価は、ｼﾘﾝﾀﾞだけの回転ﾄﾙｸが10N・cm以下とする。
3）ｷｰによる施錠機構の施解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、 試験前の回転ﾄﾙｸの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。
4）ｷｰの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、ｷｰの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でｼﾘﾝﾀﾞが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるｷｰでは、ｼﾘﾝﾀﾞが回転しないこと。（ｷｰに加えるﾄﾙｸは、150N・cmとする）
外力に対する性能
1）ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの押込み強度試験（10kN）を行なった後、荷重を除いたときのﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの出寸法は8mm以上であること。
2）ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの側圧強度試験（10kN）を行なった際、加圧板がﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄを通過しない。
3）ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの押込み強度（衝撃荷重）試験（58. 8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの突出量が8mm未満）にならないこと。
4）ﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄの側圧強度（衝撃荷重）試験（58. 5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がﾃﾞｯﾄﾞﾎﾞﾙﾄを通過した状態）にならないこと。
5）（ｼﾘﾝﾀﾞ本締り錠はｸﾞﾚｰﾄﾞ3以上の彫込錠の場合）ｽﾄﾗｲｸﾌﾟﾚｰﾄの厚さ1. 5mm以上のｽﾃﾝﾚｽ鋼製とし、ﾄﾛｶﾞﾈは厚さ1. 6 mm 以上の鋼製の一体絞りとする。又はｽﾄﾗｲｸの強度と同等以上の強度をもつものとする。

使用扉の質量に対する性能 （ｼﾘﾝﾀﾞ箱錠のみ）
1）ﾗｯﾁﾎﾞﾙﾄの側圧強度試験（4kN）を行い、荷重を除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙ操作及びﾗｯﾁﾝｸﾞに支障がない。
2）ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙのねじり強度試験（3. 5kN・cm）を行なった後、ﾄﾙｸを除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
3）握り玉のねじり強度試験（3 kN・cm）を行なった後、ﾄﾙｸを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
4）ﾊﾝﾄﾞﾙの引張強度試験（2kN）を行い、荷重を除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。
また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。
5）ﾊﾝﾄﾞﾙの垂直荷重強度試験（2kN）を行い、荷重を除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

鍵
1）かぎ（鍵）数は、1. 5万以上とする。ただし、異なるｷｰｳｪｲ形状であっても、共通のｷｰｾｸｼｮﾝが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。
2）同一ﾀﾝﾌﾞﾗｰの使用数は、60%以下とする。また、6本ﾀﾝﾌﾞﾗｰにおいては、ｷｰの同一刻みは、最大2連続までとしていること。
試験方法は、JIS A1541-1（建築金物-錠-第1部：試験方法）による。

〈錠前類〉【ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ】
（性能）
ねじり強度
ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙのねじり強度試験（3. 5 kN・cm）を行なった後、ﾄﾙｸを除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
引張り強度
ﾊﾝﾄﾞﾙの引張強度試験（2kN）を行い、荷重を除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
垂直荷重強度
ﾊﾝﾄﾞﾙの垂直荷重強度試験（2kN）を行い、荷重を除いたとき、ﾊﾝﾄﾞﾙが正常に作動していること。また、施錠時ﾊﾝﾄﾞﾙが固定される錠 は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。
試験方法は、JIS A1541-1-2006及びJIS A1541-1（建築金物-錠-第1部：試験方法）による。

〈ｸﾛｰｻﾞ類〉
（品質・性能）

性能試験項目 ＼ 区分			①ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞ		②ｾﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ		③ﾌﾛｱｾﾝｼﾞ	
初期値	閉じ力及び効率による区分（注1）（注2）	Gr.ds&2 番手	閉じﾓｰﾒﾝﾄ (N・m)	効率 (%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ (N・m)	効率 (%)	閉じﾓｰﾒﾝﾄ (N・m)	効率 (%)
		1	5以上	30以上	5以上	30以上	5以上	30以上
		2	10以上	30以上	10以上	30以上	10以上	30以上
		3	15以上	35以上	15以上	35以上	15以上	35以上
		4	25以上	40以上	25以上	40以上	25以上	40以上
		5	35以上	45以上	35以上	45以上	35以上	45以上
		6	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上	45以上
閉じ速度(秒)			常温（5～35℃）無風状態において、開扉（70°）から全開（0°）までの時間を5～8秒に調整できること。					
温度依存性(℃)			緩衝油の流動点は、JIS K2269（原油及び石油製品の流動点並びに石油製品蒸り点試験方法）により測定し、-15℃以下であること。					
ストップ力	ｽﾄｯﾌﾟ入力		60N・m以下　100N・m以下　100N・m以下 但し、ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は200N・m以下					
	ｽﾄｯﾌﾟ解除力		8N・m以上		3N・m以上		10N・m以上	
ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能(秒)（ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能を有する機種のみ適用）			ﾄﾞｱ開扉方向に荷重60 N/㎡を開扉50°から負荷する。ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ開始角度（70～85°）から更に20°まで開く間の時間は0. 8秒以上とすること。		-		-	
ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能(秒)（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度(60～75°)（ﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ機能を有する機種のみ適用）			開扉90°の位置からﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の誤整が可能であること。		-		-	
戸の閉鎖位置（中心吊り込み両自由のみに適用）			-		-		±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じﾓｰﾒﾝﾄ(N・m)	Gr.ds&2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の効率(%)	Gr.ds&2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。					
	繰返し開閉後のﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ性能(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		-		-	
	繰返し開閉後のﾃﾞｨﾚｰﾄﾞｱｸｼｮﾝ性能(秒)		耐久試験後も上記初期値を満足していること。		-		-	
	繰り返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)		-		-		耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数（繰り返し開閉回数）		Gr.ds&2	20万回		10万回		30万回	

注1. ﾊﾞﾗﾙ取付けは、右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの70%程度までとする。
注2. ｺﾝｼｰﾙﾄﾞ型は右記の閉じﾓｰﾒﾝﾄの50%程度までとする。
Grade1を選定する場合は、図示による。

（試験方法）
1）性能試験は、JIS A1510-3（建築用ﾄﾞｱ金物の試験方法-第3部：ﾌﾛｱｾﾝｼﾞ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞ及びｾﾝｼﾞｸﾛｰｻﾞ）に規定する試験方法による。
2）試験ﾄﾞｱの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。

自動ドア開閉装置

〈自動ﾄﾞｱ開閉装置〉
（品質・性能）
駆動装置・制御装置

項目	品質・性能
作動電圧	定格電圧に対し90%～110%の電圧で作動に異常がない
適用使用周囲温度(℃)	-10℃～40℃
電動機の焼損防止措置	電動機にｻｰﾏﾙﾌﾟﾛﾃｸﾀｰを内蔵、又は制御装置に保護回路を設置

検出装置（本体ｾﾝｻｰ、補助ｾﾝｻｰ）

項目	品質・性能			
作動電圧範囲	定格電圧90%～110%で作動させた時に異常がないこと。			
出力接点容量	有接点		無接点	
	AC100V	0. 3A以上（抵抗負荷）	DC50V	0. 1A以上（抵抗負荷）
	DC30V	0. 3A以上（抵抗負荷）	-	-
	DC50V	0. 1A以上（抵抗負荷）	-	-
応答時間(秒)	0. 3以下			
検出範囲	試験により確実に作動すること。			
適用使用周囲温度(℃)	-10℃～40℃			

（試験方法）
(1) 応答時間
0. 3m/secの早さで移動している標準被試験体が検出範囲に入ってから、ON信号を出力するまでの時間を測定する。
(2) 検出範囲
a. ｺﾞﾑﾏｯﾄｽｲｯﾁは、直径100mmの鋼製円柱（質量10kg）を不感部を除く全面に静かに置いたとき、確実に作動すること。

静岡県立総合病院管理課	（株）イムラ設計事務所	管理建築士　伊村　善郎 一級建築士登録第90741号	検図　作図
工事名　平成27年度　静岡県立総合病院　６Ｃ病棟患者共用便所改修工事			図番　A-_9
日付　平成27年_2月27日	建築材料等品質性能表（改修）（H25. 10）1/2		